

《学校教育目標》

自ら学び、心豊かでたくましく、ともに助け合う児童の育成
(よく学び、よく遊べ！そして、助け合う三川っ子)

《めざす児童像》

【確かな学力】
基礎・基本を身に付け、活用できる子

【豊かな心】
自分のよさを理解し、友達を大切にする子

【健やかな体】
元気に遊び、目標をもって運動に励む子

【協力し合う態度】
自分の役割を自覚し、進んで働く子

《重点的取組》

- 児童にとって「わかる・できる・楽しい・そして身に付く」授業の実践
- 授業規律と学習習慣の定着
- 個に応じた学習の機会の確保
- 図書施設の活用と読書の奨励

- 一人一人のよさに着目し、認め励ます指導の充実
- 教育活動全体を通じた道徳教育の充実
- 教育相談や集団活動の充実による、よりよい人間関係の醸成

- 外遊びの奨励
- 一人一人の実態を踏まえた、計画的、継続的な体育指導
- 健康に関する理解の向上と、望ましい生活習慣の形成

- 具体的、継続的な指導による、清掃活動の充実
- 計画的な指導・評価による、係・委員会活動の充実
- 一人一人の役割に配慮した、行事・集会等の充実

《基盤となる取組》

【学校安全、地域との連携】

- 安全への配慮の着実な実施による、児童が安心して学び、遊べる環境の整備
- 安全教育の充実による、児童の自ら身を守る力の向上
- 地域・保護者との連携の推進と地域の見守り活動の充実

《分野ごとの取組》

- 各分掌に係る業務の着実な実施
- 学校スリム化アクション

《経営の基本方針》

- 一人一人の特性・実態に配慮した指導・支援の充実
- 将来を見据え、発達段階に適した教育内容の重点化
- 教職員相互の連携を重視した組織的対応
- 保護者・地域・関係機関との積極的連携
- 根拠に基づく効果と効率を踏まえた工夫・改善

《学校経営》

1 学校教育目標

自ら学び、心豊かでたくましく、ともに助け合う児童の育成
(よく学び、よく遊べ！そして、助け合う三川っ子)

2 経営の基本方針

- 一人一人の特性・実態に配慮した指導・支援の充実を図る。
- 将来を見据え、発達段階に適した教育内容の重点化を図る。
- 教職員相互の連携を重視し、組織的に対応する。
- 保護者・地域・関係機関との積極的な連携を図る。
- 根拠に基づく効果と効率を踏まえた工夫・改善を図る

3 めざす児童像に対応した重点的取組

①基盤となる取組（学校安全・地域との連携）

ア 安全への配慮を着実に実施し、児童が安心して学び、遊べる環境を整備する。

- 月1回の定期点検の確実な実施と日常的見回り

イ 安全教育の充実を図り、児童の自ら身を守る力を高める。

- 地震・津波・火災・不審者侵入等を想定した避難訓練とワンポイント避難訓練
- 交通安全教室

ウ 地域・保護者との連携を推進し、地域の見守り活動の充実を図る。

- 朝の交通安全指導、地域見回り活動の強化
- 学校だより等による情報発信

②【確かな学力】 基礎・基本を身につけ、活用できる子

ア 児童にとって「わかる・できる・楽しい・そして身に付く」授業の実践に努める。

- 子ども目線から見てよい授業の追求
 - ・わかる授業→基礎的・基本的な知識・技能の理解と習得を達成する工夫
 - ・学びたくなる授業→意欲を高め、主体的・対話的で深い学びにつながる工夫
 - ・繰り返して定着、言葉等の難しさに配慮
 - ・「おもしろい！」と思える工夫

- 児童が集中する指導技術の向上（一日一トライ）

- ユニバーサルデザインへの配慮

- ・教材提示装置の設置とより効果的な活用による視覚優位児童への配慮
- ・教室掲示「フロントゼロ」等の集中できる教室環境
- ・よりわかりやすい指示・説明、話し合いなどの工夫

イ 授業規律と学習習慣の定着に努める。

- 始業時挨拶の徹底（一事徹底）
- 話し合い手順の共通理解と定着

ウ 個に応じた学習の機会を確保し、基礎的な知識・技能の着実な定着に努める。

- 考える時間、練習時間の確保
- 中学校に向けて基礎的学力定着の徹底
- 辞書活用の習慣の形成
- 家庭学習の適切な内容・量と習慣化
 - ・家庭の状況や本人の特性への配慮、加重負担にならない工夫

エ 図書施設の活用と読書の奨励

- 学校司書と学級担任の連携
- 読書意欲を高めるための工夫
- 公立図書館との連携や家庭との連携

③【豊かな心】 自分のよさを理解し、友達を大切にする子

ア 一人一人のよさに着目し、認め励ます指導の充実に努める。

- ほめる機会を意図的につくる、見つける努力（しかり三分にほめ七分）
- 注意しなくても子どもが集中する授業
- 褒めて帰す工夫

イ 教育活動全体を通じて道徳教育の充実に努める。

- 教科化に対応した指導の工夫
- 教育活動全体を通じた、自尊感情、自己有用感の涵養

ウ 教育相談や集団活動の充実に努め、よりよい人間関係の醸成に努める。

- 教育相談といじめアンケートの活用
- 縦割り活動や交流活動の充実
- 保護者・地域と協力した交流・学習活動の充実

④【健やかな体】 元気に遊び、目標をもって運動に励む子

ア 外遊びの奨励に努める。

- 休み時間の確保と外遊びの指導

イ 一人一人の実態を踏まえ、計画的、継続的な体育指導の充実に努める。

- 体育授業での体力作りの位置づけ
- 陸上大会、マラソン大会、縄跳び大会に向けた練習の充実

ウ 健康に関する理解の向上と、望ましい生活習慣の形成に努める。

- 外部講師による指導
- アレルギー等の課題や個々の心理、生活面への配慮
- 学校での生活習慣の定着、家庭との協力（呼びかけ）
 - ・「早寝・早起き・朝ごはん」の推進
 - ・うがい・手洗いの定着
 - ・給食を活用した食育の推進
 - ・「姿勢」「あいさつ」「返事」「くつそろえ」の定着

⑤【協力し合う態度】 役割を自覚し、進んで働く子

ア 具体的、継続的な指導を通して、清掃活動の充実に努める。

- 清掃分担ローテーションの工夫と清掃手順の指導の徹底

イ 計画的な指導・評価を推進し、係・委員会活動の充実に努める。

- 常時活動と自己評価活動の実施
- 自主性を生かした活動の推進（児童企画・ボランティア）

ウ 一人一人の役割に配慮し、行事・集会等の充実に努める。

- 学校、学年の行事、活動時の意識の啓発
- 役割分担の明確化と事前の練習、実施時の支援
- どの子にも主役の機会

4 分野ごとの重点的取組

①生徒指導

- 生徒指導の機能を生かした授業実践
- いじめ防止の充実と迅速な組織的対応
- 不登校等の問題行動への対応の推進
 - ・背景・特性への理解とそれを踏まえた組織的対応
 - ・関係機関との連携の強化
- 発達や特性の理解と教育相談活動の充実
 - ・一人一人の特性と行動の背景の理解と発達の段階を踏まえた生徒指導の充実
 - ・計画的相談活動と日常の相談活動の充実
- 人権教育の計画的実施

②道徳教育

- 教育活動全体を通じた道徳教育の充実
 - ・自尊感情（自己肯定感・自己有用感）向上のための活動・評価の工夫
 - ・各教科・領域の特性を踏まえた関連指導の充実
- 映像資料の活用等の有効活用と学習活動の工夫
- 適切で簡便な評価の工夫

③キャリア教育

- キャリア発達に配慮した指導・実践
 - ・社会的・職業的自立に向けた基礎となる能力の育成を意識した指導
 - ・様々な体験・見学活動の充実
 - ・キャリアパスポートの活用
- 将来の夢を育む指導の充実
 - ・職業体験を核とした学習の充実
 - ・校外の施設・人的資源の活用

④グローバル社会への対応

- 外国語・外国語活動の充実
 - ・簡単な英語表現に親しむことを通じたコミュニケーション能力の基礎の育成
- ふるさと教育の推進
 - ・地域の自然環境や歴史，産業等を生かした指導・支援の工夫
 - ・異文化を理解し，尊重する態度を育成する取り組みの工夫

⑤特別支援教育

- 一人一人の特性に配慮した適切な指導・支援の充実
 - ・一人一人の行動の特性とその背景の理解
 - ・特性への配慮とよさや得意を生かした指導・支援の工夫
 - ・将来と発達の段階を見据えた指導・支援の重点化
 - ・周囲の児童との関係の円滑化と環境の整備
 - ・学習環境のユニバーサルデザイン化
- 保護者・関係機関との積極的連携
 - ・特別支援アドバイザー、巡回相談、センター的機能等の活用
 - ・保護者の心情に配慮した合意形成と合理的配慮の提供
- 一人一人が楽しく取り組める学習指導の工夫
 - ・「おもしろい！」と思える教材・教具、指導の工夫

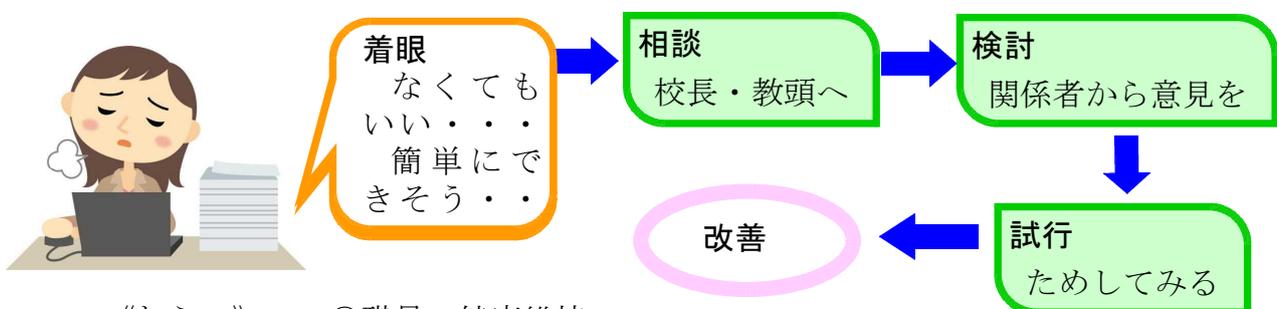
⑥研修

- 日々の授業の向上に資する研修活動の充実
 - ・算数科を中心とした授業研究の充実
 - ・日常の授業を改善する意識の保持
 - ・子ども目線から見てよい授業
- 学校教育の課題と新学習指導要領を踏まえた研修機会の確保

【教職員としての留意事項】

- (1) 安全はすべてに優先する
(安全を第一に考え、児童の活動・生活を組織する。)
- (2) しっかり三分にほめ七分
(視点を柔軟に、児童のよさに着目し、自信とやる気を引き出す)
- (3) 背景を読む・心理を読む
(一人一人の行動の背景を考え、特性に配慮した丁寧な指導を心がける。)
- (4) 一日トライ
(注意しなくても児童が集中するよう指導技術を工夫する。)
- (5) 常識を踏まえ、常識にとらわれない
(常識を踏まえるとともに、常識や慣例にとらわれない広い視野と実証的な視点から考える。※子どもに表れた現実をよく見て)
- (6) 学校スリム化アクション
(効率と効果の視点から業務の改善に努め、児童の指導に集中できる環境を整える。)
- (7) チーム三川、一人一人が貴重な戦力
(個々の持ち味を最大限に発揮し、チームとして総合力の向上を図る。)
- (8) 協力は最善の連携
(保護者・地域・関係機関と積極的に連携し、様々な力を活用する。)
- (9) 苦しいときほど笑顔で
(悩みは互いに分かち合い、前向きに視点を変える。)
- (10) 休養も仕事の内、愚痴と冗談は心の安全弁
(疲れたときにはゆっくり休み、明日の朝に備える。)

☆働き方改革（学校スリム化アクション）



- 《ねらい》 ○職員の健康維持
○子どもたちに対面しているときこそ最高のパフォーマンス
- 《考え方》 ○書類は必要最低限
○慣例・常識にとらわれず効果・効率を念頭に